

# 2024年3月期 第3四半期 決算説明資料

2024年2月13日  
ステラケミファ株式会社  
(証券コード：4109)

# 目次

## 【決算説明資料】

- ・業績ハイライト P. 3
- ・決算概要 P. 4 – 11
- ・業績予想 P. 12 – 14
- ・株主還元 P. 15 – 16

## 【参考資料（会社概要・事業紹介）】

- ・会社概要 P. 18
- ・主要子会社および関連会社 P. 19
- ・事業紹介 P. 20 – 41
- ・PFASについて P. 42

# 業績ハイライト

## 【2024年3月期3Q累計実績】

- ◆ 半導体部門は、販売価格は上昇も、市況悪化に伴い出荷量が前年同期と比較して減少
- ◆ エネルギー部門は、濃縮ホウ素（ボロン10）の海外向け出荷により前年同期と比較して増加
- ◆ 無水フッ化水素酸の国内調達価格は前年同期と比較して横ばい(海外子会社においては低下)  
中国以外からの調達に向けた取り組みを継続

## 【通期見通し】

- ◆ 無水フッ化水素酸の価格や為替動向等、不確定要素の業績への影響を注視するため、  
業績予想は据え置き
- ◆ 発表日（2024/2/13）現在において入手可能な情報に基づき、配当予想を修正

# 決算概要

(単位：百万円)	2023年3月期 3Q	2024年3月期 3Q	増減	増減率(%)
売上高	28,270	23,311	△4,958	△17.5
売上総利益	6,017	5,110	△907	△15.1
営業利益	3,068	2,284	△784	△25.6
経常利益	3,750	2,537	△1,212	△32.3
親会社株主に 帰属する四半期純利益	1,658	1,707	48	2.9
1株当たり 四半期純利益(円)	134.42	141.98		
設備投資額	3,523	3,341	△182	△5.2
減価償却費	1,922	2,100	177	9.2
研究開発費	381	521	139	36.6

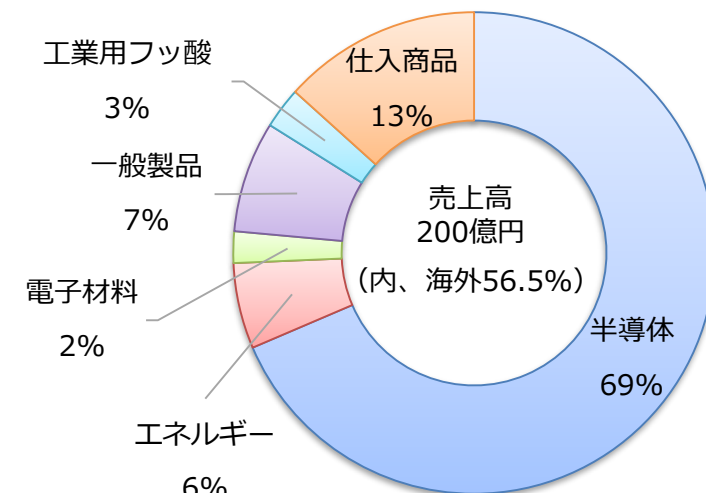
# セグメント別 売上高・営業利益

(単位：百万円)	売上高				営業利益			
	2023年3月期 3Q	2024年3月期 3Q	増減		2023年3月期 3Q	2024年3月期 3Q	増減	
			金額	%			金額	%
高純度薬品	24,700	20,059	△4,641	△18.8	2,619	1,964	△654	△25.0
運輸	3,453	3,127	△325	△9.4	441	317	△124	△28.3
その他	116	124	8	6.9	16	13	△3	△19.2
消去又は 全社	-	-	-	-	△8	△10	△1	-
合計	28,270	23,311	△4,958	△17.5	3,068	2,284	△784	△25.6

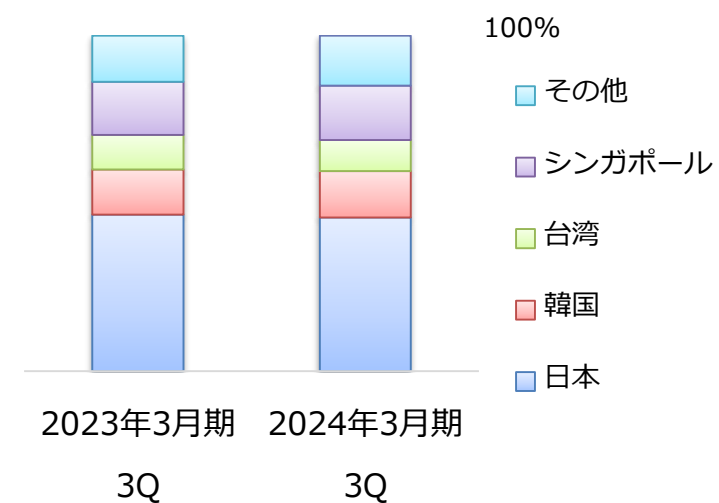
# 高純度薬品事業 売上高（内訳）

(単位：百万円)	2023年3月期 3Q	2024年3月期 3Q	増減	増減率 (%)
半導体	14,729	13,754	△974	△6.6
エネルギー	856	1,156	299	35.0
電子材料	796	423	△372	△46.8
一般製品	2,002	1,496	△505	△25.2
工業用フッ酸	1,621	554	△1,066	△65.8
仕入商品	4,694	2,673	△2,021	△43.1
合計	24,700	20,059	△4,641	△18.8

2024年3月期3Q 売上高構成比

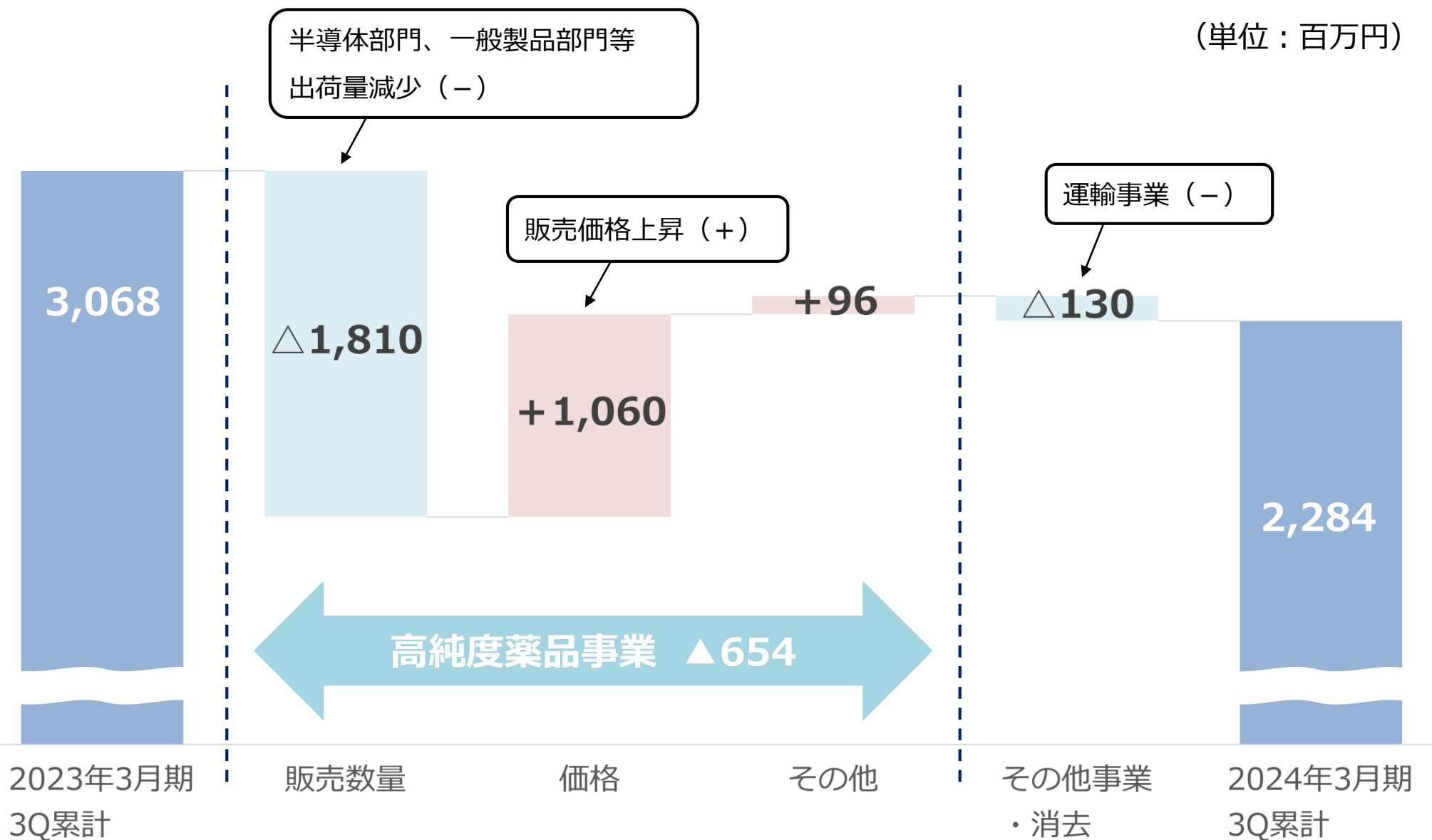


半導体 国別出荷割合



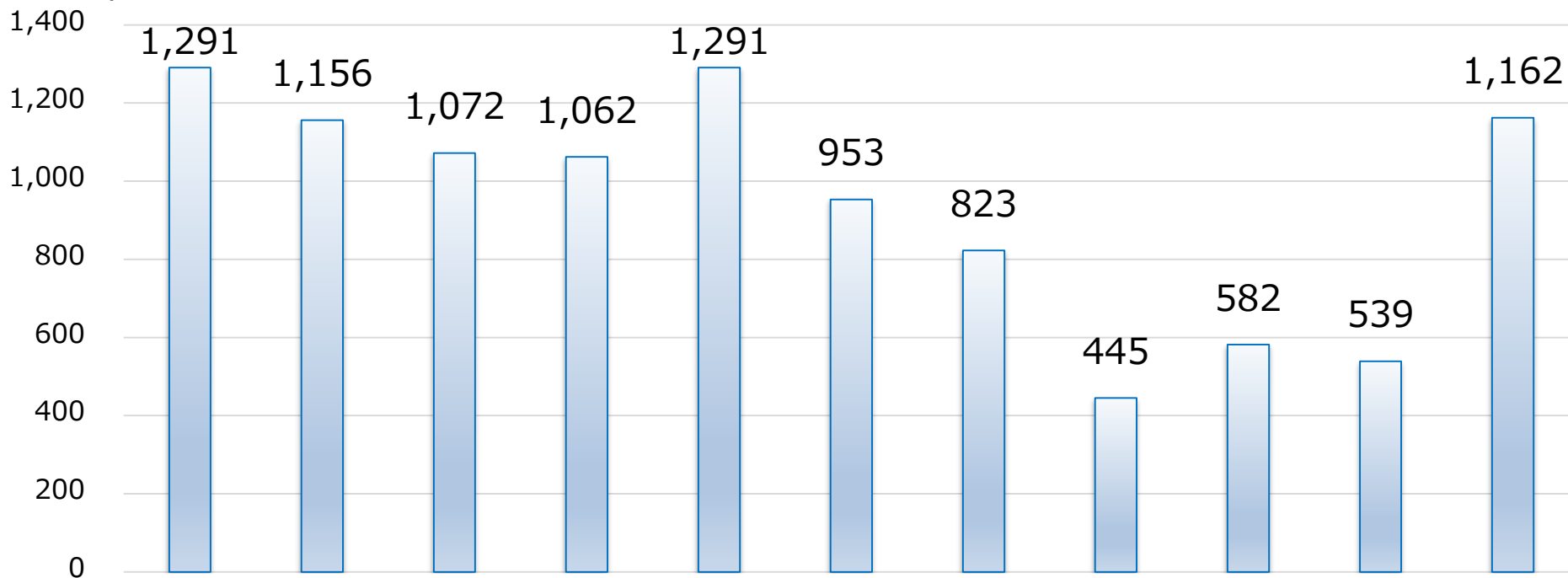
# 営業利益増減分析（前年同期比）

（単位：百万円）



# 営業利益推移

(単位：百万円)



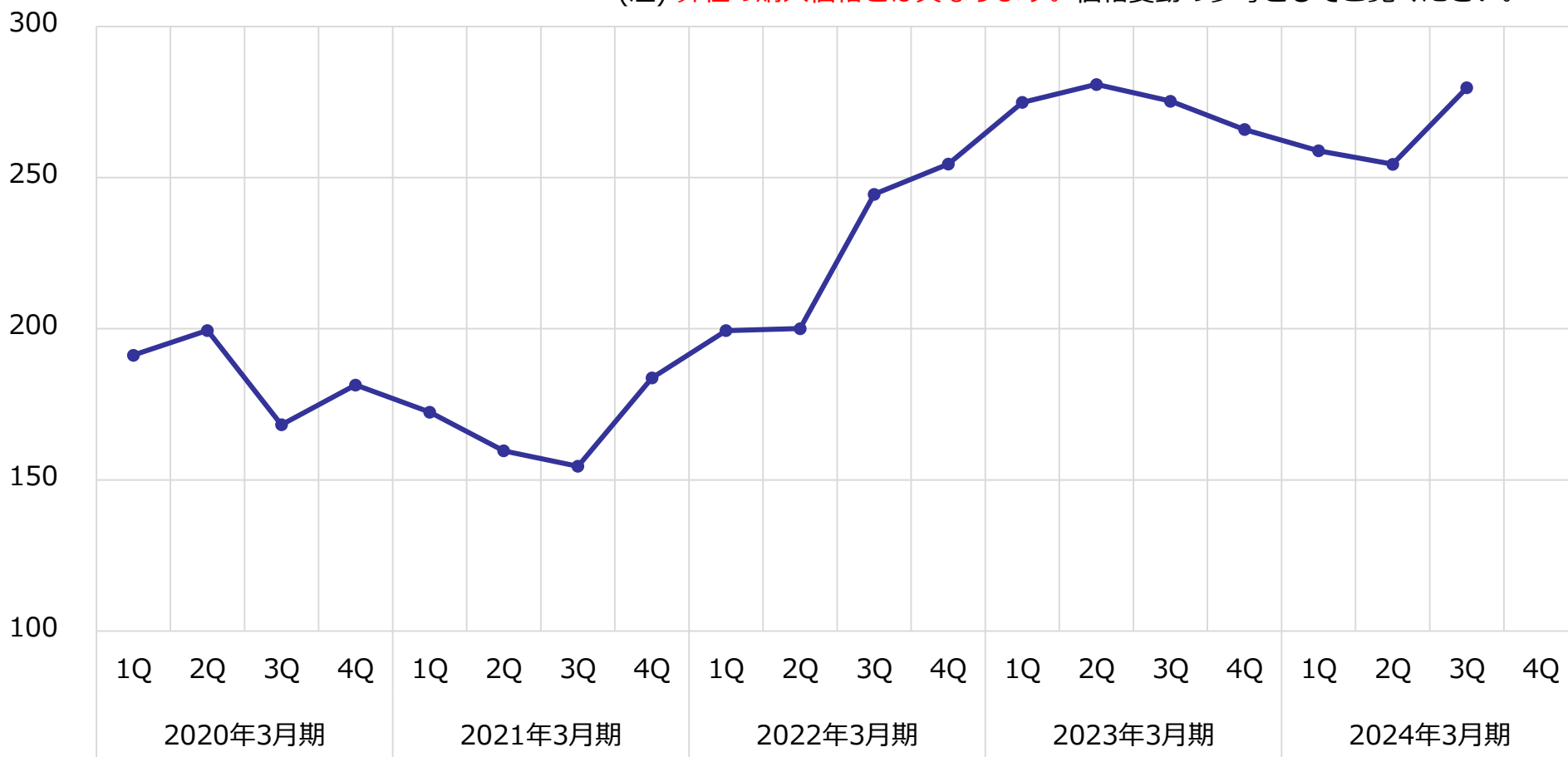
	2022年3月期				2023年3月期				2024年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	8,896	9,212	9,015	10,171	9,764	9,854	8,651	7,112	7,298	7,199	8,813	
営業利益	1,291	1,156	1,072	1,062	1,291	953	823	445	582	539	1,162	
営業利益率	14.5%	12.5%	11.9%	10.4%	13.2%	9.7%	9.5%	6.3%	8.0%	7.5%	13.2%	



# フッ化水素酸「輸入貿易統計価格（中国）」推移

(円/kg)

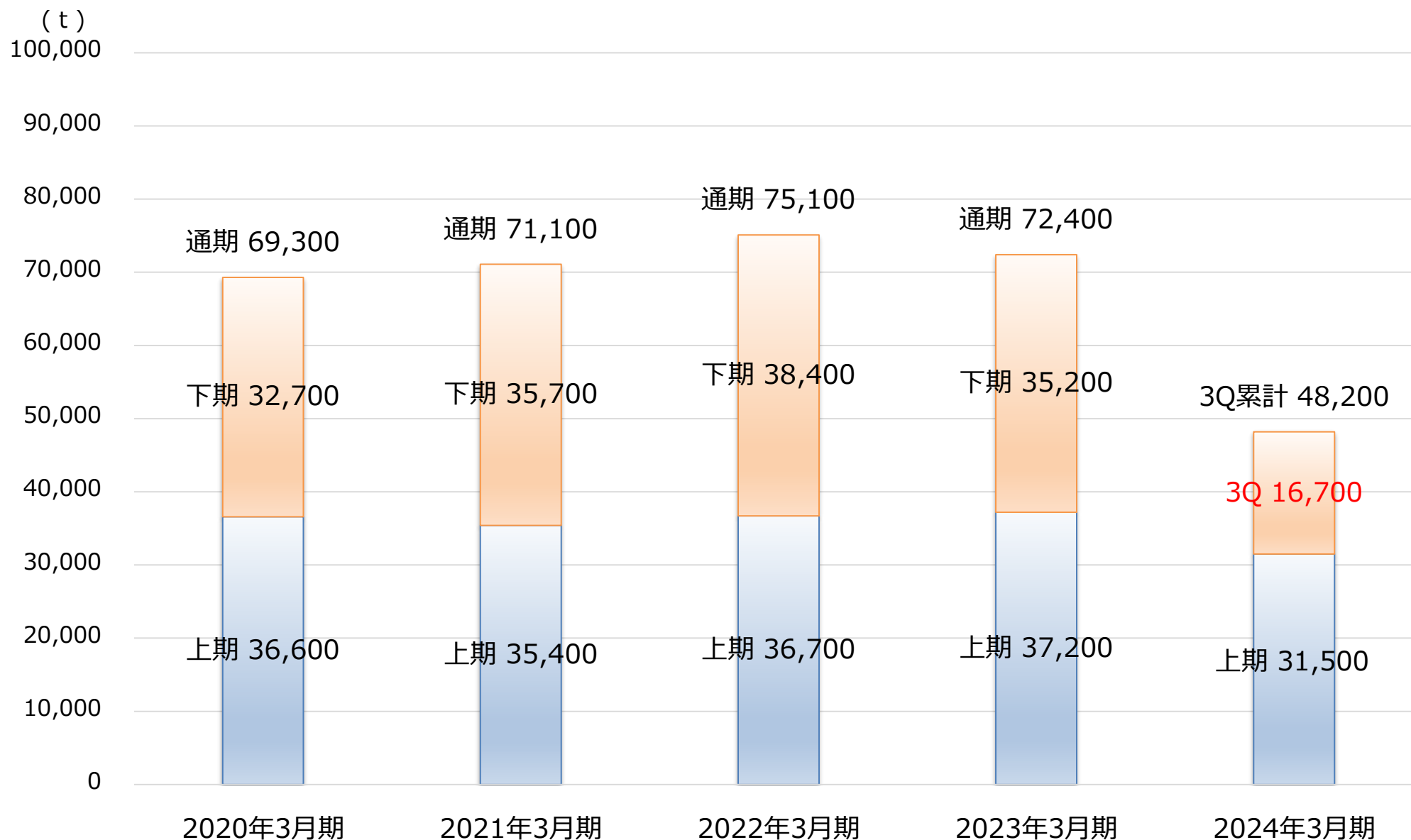
(注) 弊社の購入価格とは異なります。価格変動の参考としてご覧ください。



(単位：円/kg)	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
平均価格	186	168	225	274	264

出所：財務省「財務省 貿易統計」(<http://www.customs.go.jp/toukei/info/>)より弊社作成

# 高純度フッ化水素酸（半導体）出荷量推移



# 貸借対照表

(単位：百万円)	2023年3月期 期末	2024年3月期 3Q	増減	増減率(%)
<b>資産</b>	<b>55,471</b>	<b>57,641</b>	<b>2,170</b>	<b>3.9</b>
現預金	15,097	16,730	1,632	10.8
営業債権	7,110	6,594	△516	△7.3
棚卸資産	5,496	5,460	△36	△0.7
有形固定資産	22,625	23,640	1,015	4.5
無形固定資産	261	178	△83	△31.8
<b>負債</b>	<b>12,309</b>	<b>12,828</b>	<b>518</b>	<b>4.2</b>
営業債務	3,590	2,607	△983	△27.4
有利子負債	4,138	5,425	1,286	31.1
<b>純資産</b>	<b>43,162</b>	<b>44,813</b>	<b>1,651</b>	<b>3.8</b>
自己資本	42,875	44,566	1,690	3.9
<b>負債純資産</b>	<b>55,471</b>	<b>57,641</b>	<b>2,170</b>	<b>3.9</b>

# 業績予想

(単位：百万円)	2023年3月期 実績	2024年3月期 予想	増減	増減率(%)
売上高	35,382	32,300	△3,082	△8.7
営業利益	3,514	2,800	△714	△20.3
経常利益	4,347	2,450	△1,897	△43.7
親会社株主に 帰属する当期純利益	2,280	1,650	△630	△27.7
1株当たり 当期純利益 (円)	186.03	137.33	△48.70	
配当金額 (円)	60	(※) 145	85	
ROE (%)	5.4	3.8	△1.6	
設備投資額	5,408	4,400	△1,008	△18.6
減価償却費	2,593	2,750	156	6.1
研究開発費	660	750	89	13.5

※ 2024年2月13日公表

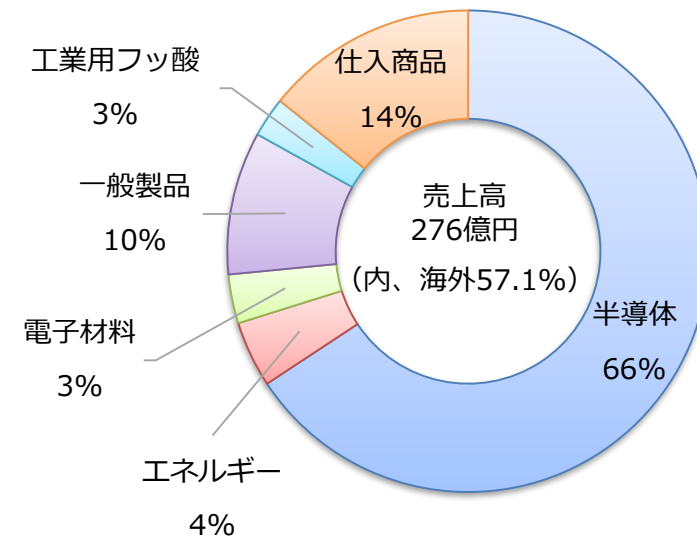
# セグメント別 売上高・営業利益予想

(単位：百万円)	売上高				営業利益			
	2023年3月期 実績	2024年3月期 予想	増減		2023年3月期 実績	2024年3月期 予想	増減	
			金額	%			金額	%
高純度薬品	30,707	27,690	△3,017	△9.8	2,961	2,330	△631	△21.3
運輸	4,504	4,430	△74	△1.7	533	450	△83	△15.7
その他	170	180	9	5.5	30	30	△0	△2.5
消去又は 全社	—	—	—	—	△11	△10	1	—
合計	35,382	32,300	△3,082	△8.7	3,514	2,800	△714	△20.3

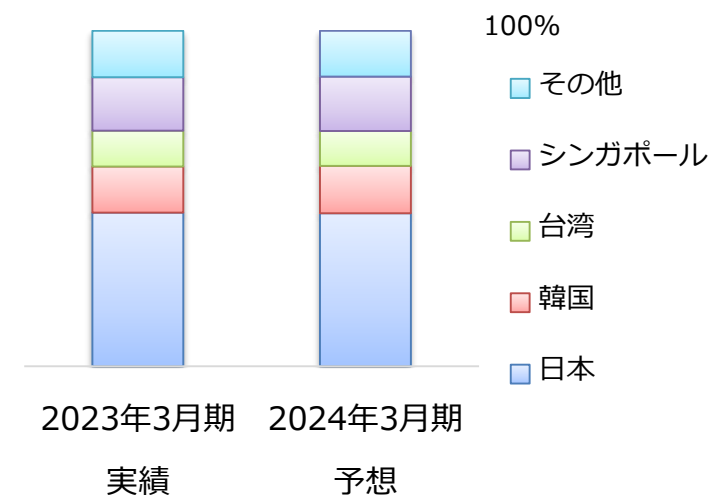
# 高純度薬品事業 売上高予想（内訳）

(単位：百万円)	2023年3月期 実績	2024年3月期 予想	増減	増減率 (%)
半導体	19,049	18,200	△849	△4.5
エネルギー	996	1,230	233	23.4
電子材料	1,032	910	△122	△11.8
一般製品	2,514	2,660	145	5.8
工業用フッ酸	1,739	740	△999	△57.5
仕入商品	5,375	3,950	△1,425	△26.5
合計	30,707	27,690	△3,017	△9.8

2024年3月期予想 売上高構成比



半導体 国別出荷割合



# 株主還元

## 【新たな株主還元方針（2023/5/9公表）】

当社は、財務状況、利益水準などを総合的に勘案したうえで、安定的かつ継続的に配当を行うことが、経営上の重要な課題であると認識しています。

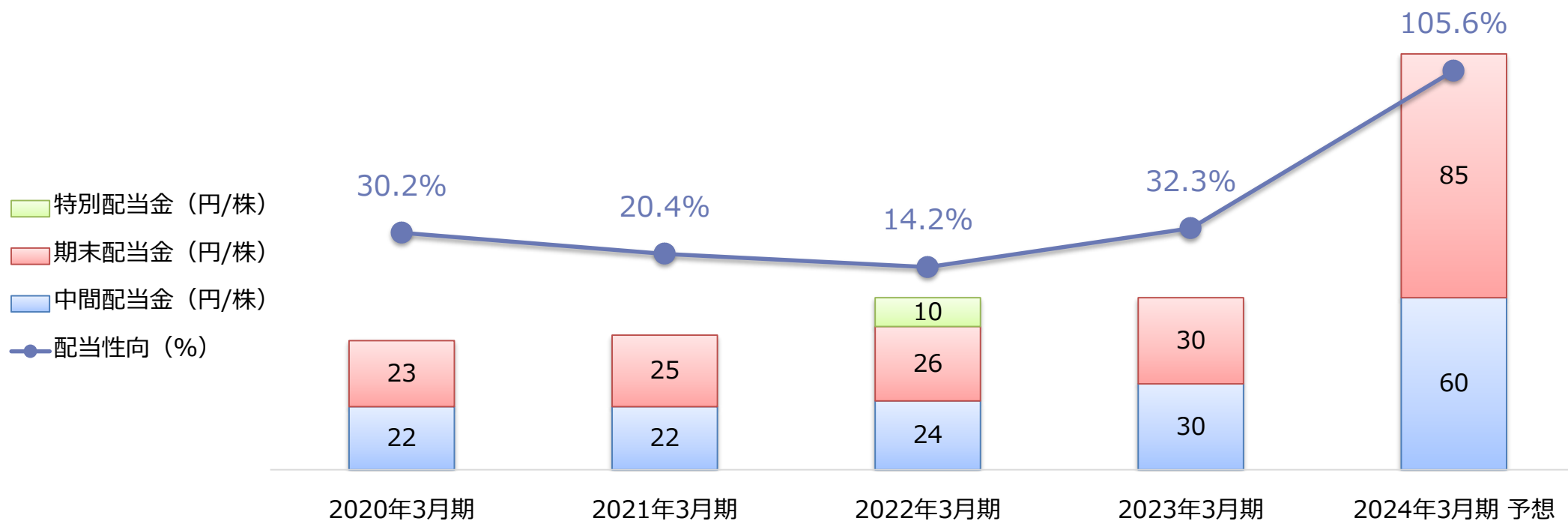
また、成長投資と株主還元のバランスに加え、資本効率の改善を図るため株主還元については、適用期間（2024年3月期・2025年3月期）を定めて、**総還元性向 100%** を目標といたします。

内部留保金は、設備投資、研究開発投資などに充当し、今後の事業展開に積極的に活用し、企業価値を高めるよう努力いたします。

# 株主還元

## 【配当実績および予想】

- ◆ 2023年3月期 ● 年間配当 60円/株
- 50万株（13.5億円）の自己株式取得を実施
- ◆ 2024年3月期 ● 年間配当予想 145円/株（2024年2月13日公表）





# 参考資料

(会社概要・事業紹介)

# 会社概要

(2023年12月31日 現在)

商号	ステラケミファ株式会社 (STELLA CHEMIFA CORPORATION)	
所在地	大阪府大阪府中央区伏見町四丁目1番1号 明治安田生命大阪御堂筋ビル10階	
創業 / 設立	1916 (大正5) 年2月 / 1944 (昭和19) 年2月	
資本金	48億2,978万2,512円	
代表者	代表取締役社長 橋本 亜希 代表取締役専務 (生産統括) 坂 喜代憲	
URL	<a href="https://www.stella-chemifa.co.jp/">https://www.stella-chemifa.co.jp/</a>	
従業員数	292名	
営業部拠点	大阪営業部 (大阪府大阪府中央区) 東京営業部 (東京都千代田区)	
生産拠点	三宝工場 (大阪府堺市堺区) 泉工場 (大阪府泉大津市) 北九州工場 (福岡県北九州市八幡西区)	
研究開発拠点	次世代材料研究棟 (大阪府堺市堺区 : 三宝工場敷地内)	

# 主要子会社および関連会社

## 国内（3社）

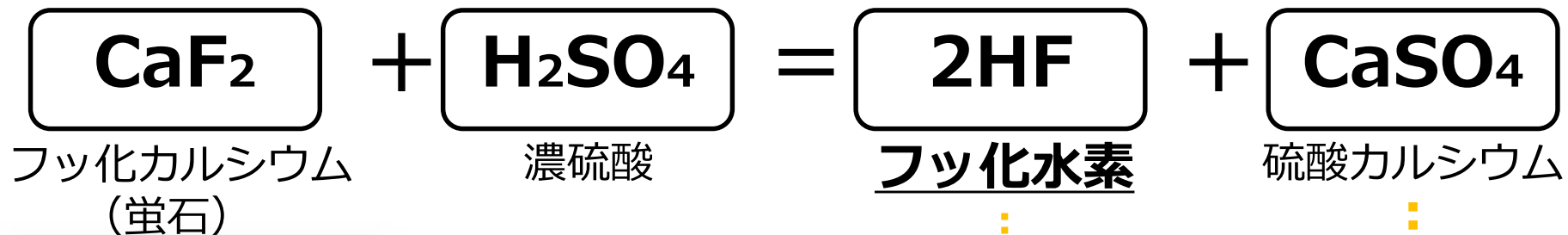
運輸事業	ブルーエクスプレス株式会社	大阪府 堺市 堺区
その他事業	ブルーオートトラスト株式会社	大阪府 堺市 堺区
メディカル事業	ステラファーマ株式会社	大阪府 大阪市 中央区

## 海外（6社）

高純度薬品事業	STELLA CHEMIFA SINGAPORE PTE LTD	シンガポール
運輸事業	STELLA EXPRESS (SINGAPORE) PTE LTD	シンガポール
高純度薬品事業	星青国際貿易（上海）有限公司	中国
運輸事業	青星国際貨物運輸代理（上海）有限公司	中国
高純度薬品事業	浙江瑞星フッ化工業有限公司	中国
高純度薬品事業	衢州北斗星化学新材料有限公司	中国

# 事業紹介

## フッ化水素の製造とその用途



※蛍石は大きく5つの純度グレードに分けられており半導体用途には97%以上の純度を持つ高品位な蛍石が求められる。

コンクリート材料等

弊社の独自技術による反応・精製

ステンレスなどの表面処理

代替フロン等の原料

半導体向けエッチング・洗浄用薬液

リチウムイオン二次電池の材料

濃縮ホウ素

反応触媒  
その他製品

# 事業紹介

## 高純度薬品事業

半 導 体	・半導体や液晶パネルの製造工程におけるエッチング・洗浄用薬液の製造・販売
エ ネ ル ギ ー	・原子力関連施設やがん治療（BNCT）で使われる濃縮ホウ素（ボロン10）の製造・販売
	・リチウムイオン二次電池の性能を向上させる添加剤の製造・販売
電 子 材 料	・タンタルコンデンサーで使われるタンタル製造助剤の製造・販売
	・カメラ・ステッパー用レンズ原料などの製造・販売
	・少量生産段階の研究開発品の製造・販売
	・LEDに使われる蛍光体製造用原料や蛍光体の製造・販売
一 般 製 品	・様々な化学品や医薬品の中間体製造で使用する触媒の製造・販売
	・虫歯や歯肉炎の予防効果を持たせるための歯磨き用添加剤の製造・販売
	・その他のフッ素化合物の製造・販売
工 業 用 フ ッ 酸	・代替フロン・フッ素樹脂の原料となる無水フッ化水素酸の製造・販売
	・ステンレスの酸洗浄や液晶パネルの薄化などに使用されるフッ酸の製造・販売
仕 入 商 品	・仕入商品の販売

# 事業紹介 ~半導体~

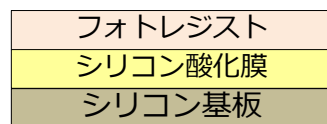
## 超高純度化技術

- 超精製技術、超清浄技術により、1ppt ( $1 \times 10^{-12}$ ) 以下の不純物レベルをコントロール
- 超高集積回路に対応できる超高純度薬液を量産化

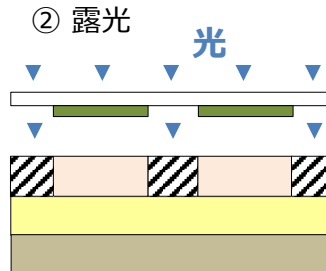
超高純度フッ化水素酸	<ul style="list-style-type: none"><li>• フッ化水素酸(HF)は、シリコン酸化膜をエッチング除去できる唯一の薬液</li><li>• 半導体製造プロセスには不可欠で超高純度が要求される薬液</li><li>• 特に希フッ酸は、数多くの半導体プロセスで使用</li></ul>
超高純度バッファードフッ酸	<ul style="list-style-type: none"><li>• フッ化水素酸 (HF) とフッ化アンモニウム (<math>\text{NH}_4\text{F}</math>) の混合水溶液</li><li>• 主に絶縁膜のエッチングや洗浄等の工程で使用</li><li>• 十数 Å/minから数千 Å/minの広範囲なエッチレートを持つ薬液が製造可能</li></ul>

## 使用例 (フォトリソグラフィ工程)

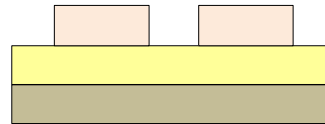
- ① シリコンウエハに  
フォトレジスト塗布  
(加熱乾燥)



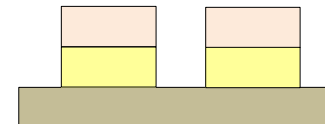
- ② 露光



- ③ 現像



- ④ エッチング  
(フッ酸系薬液でシリコン  
酸化膜を溶かす)



- ⑤ フォトレジスト剥離



# 事業紹介 ～半導体～

## 当社製品例

製品名 (半導体関連)	説明
超高純度フッ化水素酸	半導体、FPD、太陽電池およびMEMSの製造における シリコンウェハのウェットエッチングおよびウェット洗浄に使用される薬液
超高純度バッファードフッ酸	超高純度フッ化水素酸とフッ化アンモニウム溶液の混合水溶液
BHF (バッファードフッ酸)	50%フッ化水素酸と40%フッ化アンモニウム水溶液を任意の配合比で混合した薬液
LL BHF	BHF (バッファードフッ酸) に界面活性剤を添加し、様々な機能性を有した薬液
LAL BHF	フッ化アンモニウム濃度を通常約半分の17～20%と最適化し、長寿命化などのメリットを実現した界面活性剤入りのBHF (バッファードフッ酸)
Ex-LAL BHF ※新製品	フッ化アンモニウム濃度を5%以下まで低減し、装置での結晶析出を抑制した界面活性剤入りBHF(バッファードフッ酸)
HSN BHF ※新製品	LAL BHFと同様、長寿命化などメリットを有しながら、かつ、シリコン窒化膜に対して高い選択比でシリコン酸化膜エッチングできる薬液

# 事業紹介 ～半導体～

## 半導体用高純度フッ化水素酸の生産能力

北九州工場



(福岡県北九州市)

30,000 t / 年産

三宝工場



(大阪府堺市)

65,000 t / 年産

STELLA CHEMIFA  
SINGAPORE



(シンガポール)

10,000 t / 年産

**105,000 t / 年産**

フッ素化合物の総合メーカーとして、  
製造から充填まですべて自社技術で行っています。



# 事業紹介 ~エネルギー~



濃縮プラント  
(大阪府泉大津市)

## 濃縮ホウ素（ボロン10）とその特徴

- 天然ホウ素（ボロン）はボロン10(20%)・ボロン11(80%)が同位体として存在
- ボロン10を99%以上に濃縮する技術を開発
- 濃縮ホウ素の大量生産技術を国内で初めて確立(2000年)
- ボロン10は、中性子吸収能力が極めて高い性質があり、濃度を高めることでさらにその吸収能力が向上する

## 生産能力

品目		生産能力
濃縮ホウ素	$^{10}\text{B}$	6 t / 年産

(※次の品目に換算した場合)

濃縮ホウ酸	$\text{H}_3^{10}\text{BO}_3$	36 t / 年産
濃縮ホウフッ化カリウム	$\text{K}^{10}\text{BF}_4$	75 t / 年産

# 事業紹介 ～エネルギー～

## 濃縮ホウ素化合物の用途

- 一次冷却水に溶かし込んで、加圧水型原子炉の余剰反応度制御
- 使用済み核燃料の輸送・貯蔵容器の中性子吸収材
- 原子炉の制御棒の材料や、使用済み核燃料プールのラック材
- 特定重大事故等対処設備の水源
- がん治療薬剤の原料（BNCT：ホウ素中性子捕捉療法）

## 濃縮ホウ酸の利用メリット

- ① 原子炉内の腐食環境の改善  
天然品と比較して、1/5で必要<sup>10</sup>B濃度が確保できる。  
低濃度での運転が可能となり、設備での腐食が低減できる。
- ② ホウ酸水の維持保管コスト低減  
ホウ酸水の溶解維持のため加熱・保温が必要。  
濃縮ホウ酸であれば濃度を下げることが可能であり、保温問題が低減される。  
また、貯蔵タンクも小さくできる。
- ③ より確実に  
緊急停止時にはより確実な制御が可能であり、また、ホウ酸は人体や環境に有害であるため、全体のホウ酸量を低減できることはメリットである。

# 事業紹介 ~エネルギー~

## 添加剤

- リチウムイオン二次電池を高性能化する電解液用添加剤
- 高温耐久性・高伝導性・高容量化・低抵抗・難燃性

## 六フッ化リン酸リチウム

- リチウムイオン二次電池用高純度電解質  
※中国の関連会社（衢州北斗星化学新材料有限公司）にて製造・販売

### リチウムイオン二次電池構成材料例

添加剤

正極・負極

セパレーター

集電体

電解質

バインダー

保護用IC

PTC素子



泉工場製造棟（大阪府泉大津市）



衢州北斗星化学新材料有限公司  
(中国)

# 事業紹介 ～一般製品～

## フッ化スズ

- 2017年  
FDAによるOTC虫歯予防薬の原薬である『フッ化スズ』のGMP査察が完了し、正式な公認を取得。
- 2018年  
GMP対応製品として『フッ化スズ』の販売を開始。



泉工場製造棟（大阪府泉大津市）



※歯の健康や美観への関心が強い欧米向けを中心に、  
需要を見込んでいます。

⇒ 歯磨き用以外の新たな用途も開拓中（例：蹄殺菌）

# 事業紹介 ～新たな取り組み（半導体）～

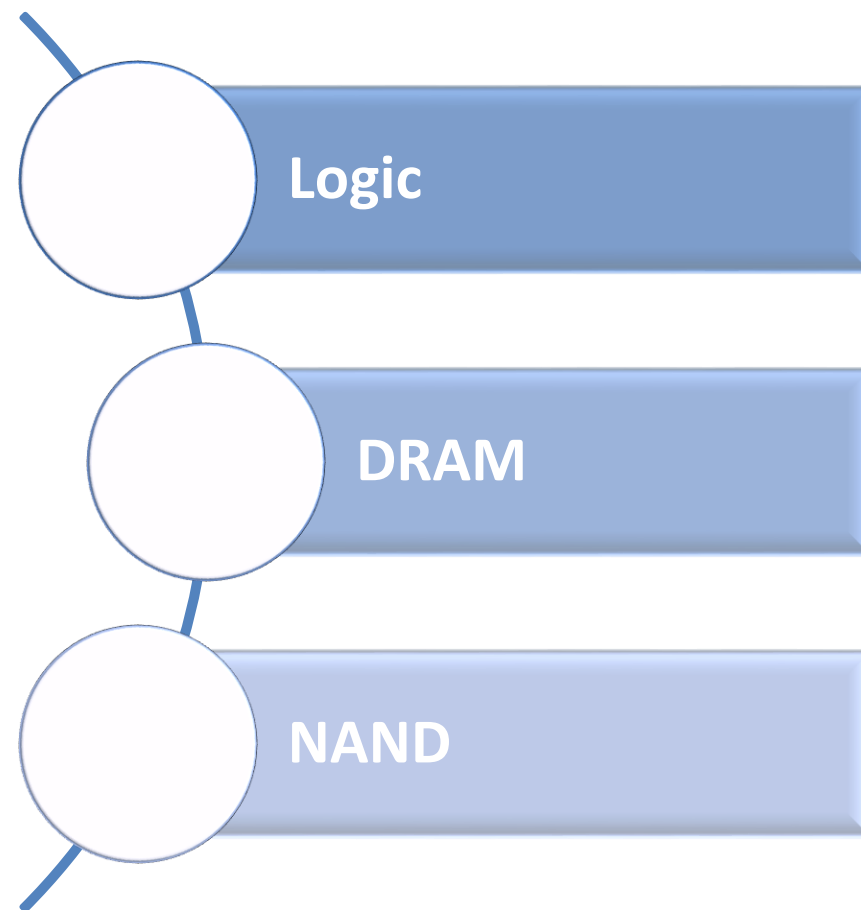
## 半導体用薬液関連

### ■ 先端半導体の動向

- 半導体デバイスのスケーリングは、微細化に加え、構造の3次元化・新材料の適用といった技術革新により進みます。
- フッ化水素酸やバッファードフッ酸に要求される機能性は様々あり、品位もますます厳しくなっています。

### ■ 開発の選択と集中

- ロジック、メモリーにフォーカス。技術革新に貢献できる機能性薬液の開発を推し進めています。
- ナノスケールの半導体デバイス製造に適応すべく、極めて小さいサイズの粒子保証に向けた取り組みにも継続して注力しています。



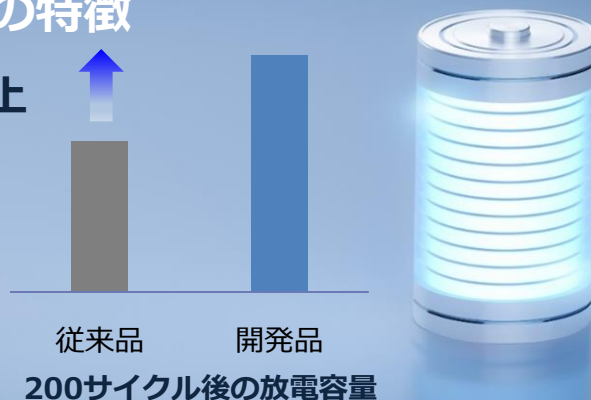
# 事業紹介 ～新たな取り組み（エネルギー）～

## リチウムイオン二次電池用電解液添加剤の開発

- 高容量Ni（ニッケル）系正極材料への適用  
高電圧、高温負荷に対する劣化抑制
- サンプルワークに向け、試作品を準備中

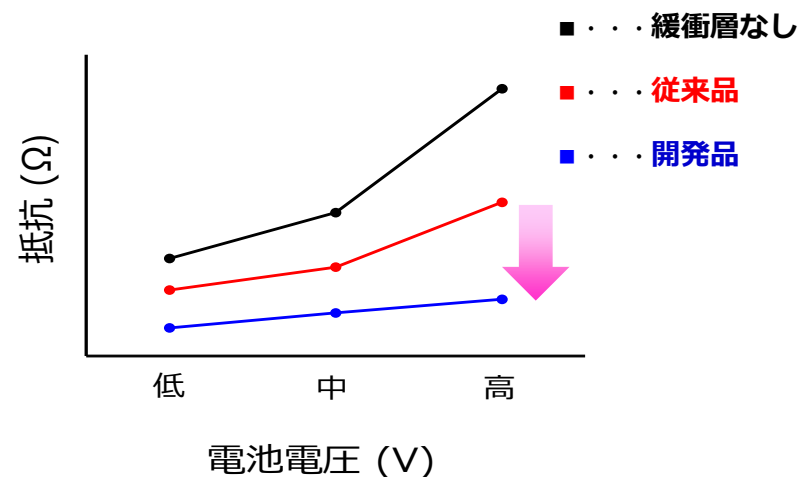
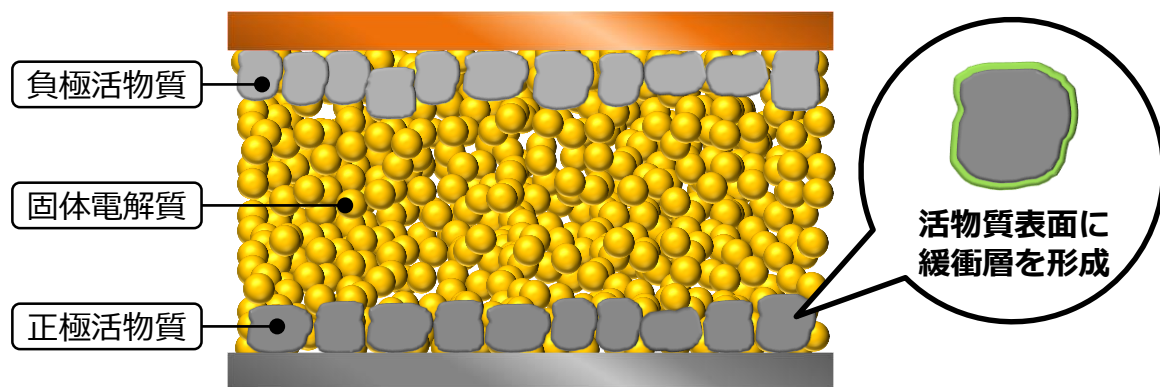
### 開発中の添加剤の特徴

- ✓ サイクル特性向上
- ✓ 抵抗低減
- ✓ 高温耐性



## 全固体電池用材料の開発

- 全固体電池の高性能化に向けた材料開発を推進中
- 正極活物質－電解質界面における電極反応を円滑化するためのアプローチ





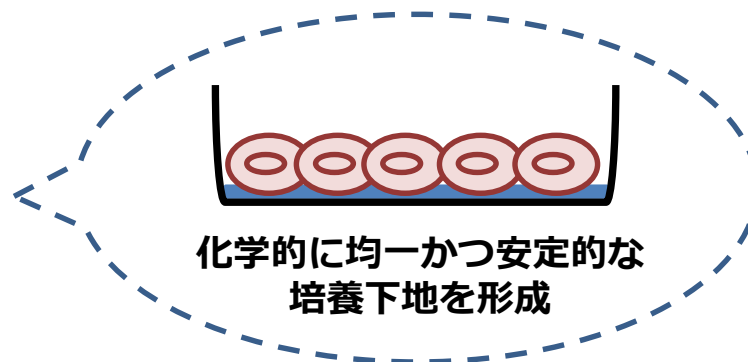
# 事業紹介 ～新たな取り組み（細胞培養容器）～

## 細胞培養容器

- 高純度薬品事業で培ってきた当社独自の表面処理技術に応用した細胞培養容器を開発
- 研究機関等へサンプル提供を開始。提供先の要望に応じ、製品ラインナップ拡充に取り組み中
- 共同研究先と共に培養性能評価を進めており、PRデータの強化にも取り組んでいる

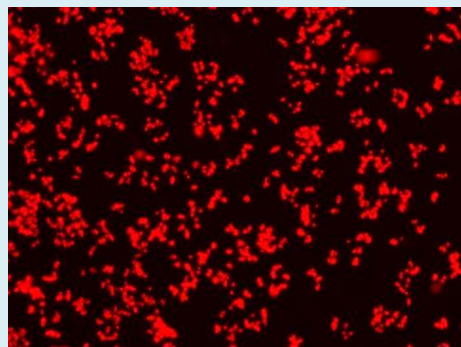


開発した細胞培養容器

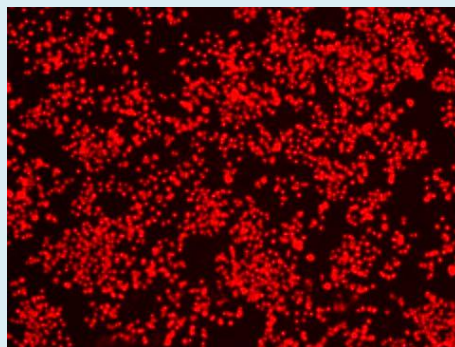


### 細胞増殖評価（細胞：赤色）

一般販売品

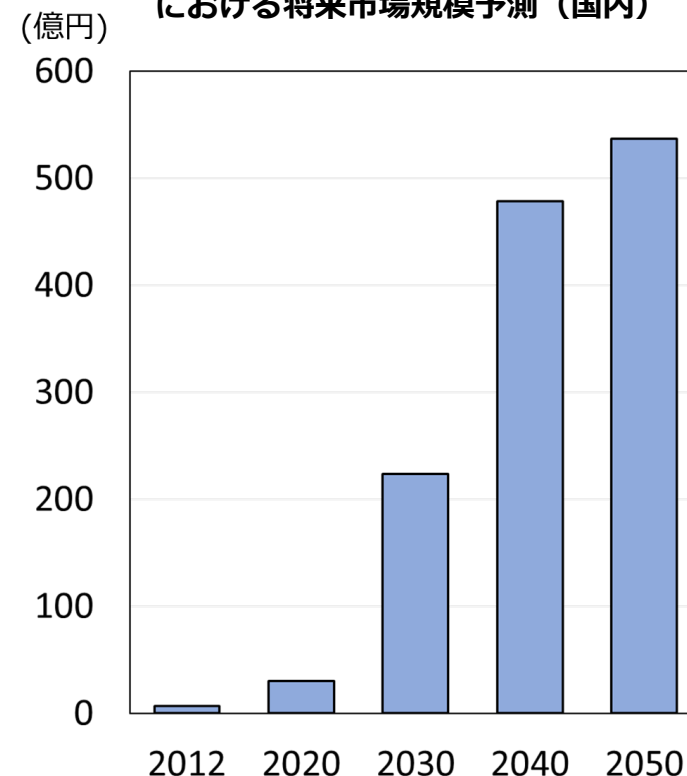


当社開発品



増殖性良好

プレート・フラスコ等の培養容器における将来市場規模予測（国内）



経済産業省「再生医療の周辺産業の将来市場規模予測」より抜粋

# 事業紹介 ～新たな取り組み（電子材料1）～

## 蛍光体関連材料

- タブレットや液晶TVにミニLEDバックライトLCDが搭載され、本格的なミニLEDの普及へ
- 車載ディスプレイ用途にも蛍光体フィルムの採用が決まるなど、量子ドットよりも安定性に優れる蛍光体のメリットを活かしたニーズ拡大が期待
- 照明向けもハイエンドモデルにはフッ化物系蛍光体を採用する流れが加速

### フッ化物蛍光体(LSA-61A)



＜電子掲示板＞



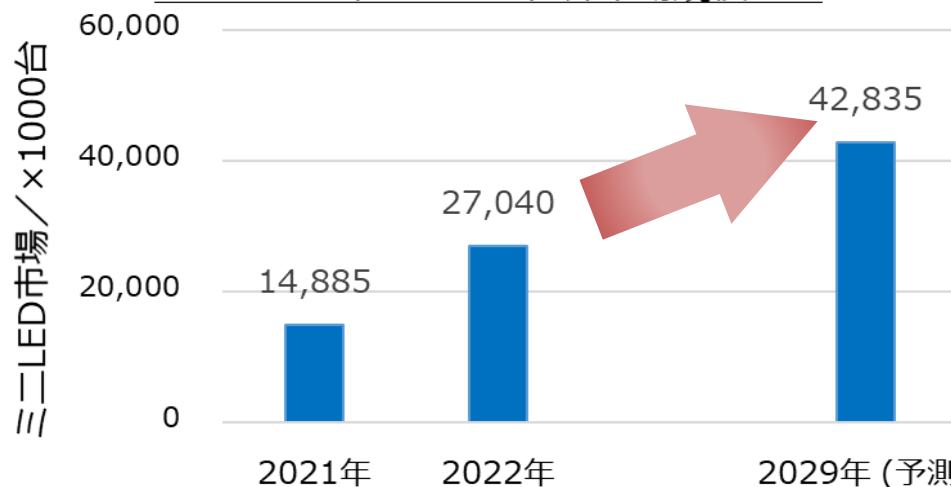
＜車載ディスプレイ＞



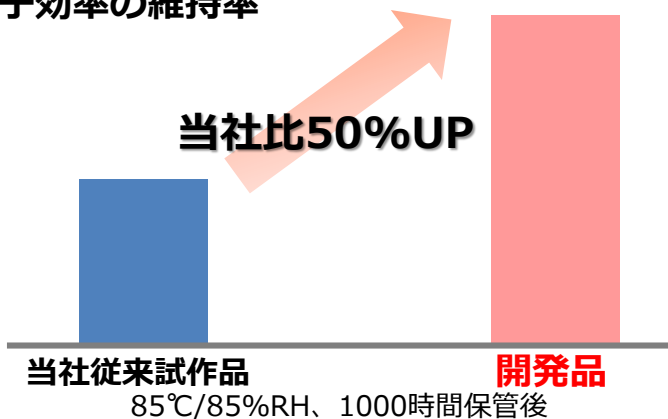
＜LED照明＞



ミニLEDディスプレイ世界市場規模予測



内部量子効率の維持率



耐久性向上に成功⇒顧客へのサンプルワークを推進中

出典：矢野経済研究所「2022年版 マイクロ・ミニLEDディスプレイ市場の現状と将来展望」



# 事業紹介 ～新たな取り組み（電子材料2）～

## プリント基板関連材料（低誘電率材料）

- 高周波基板向けへの低誘電フィラーの開発

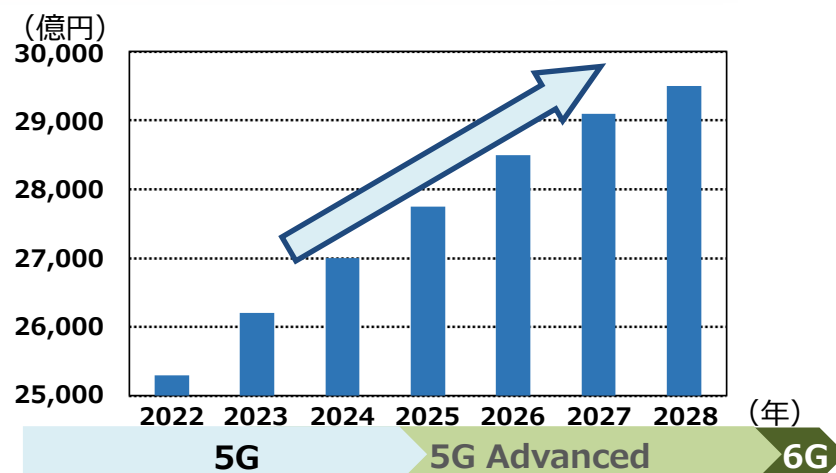
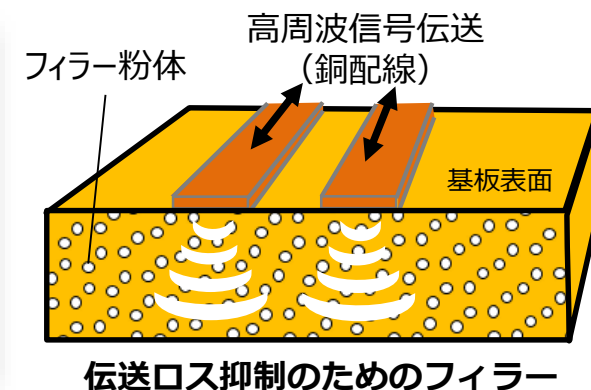
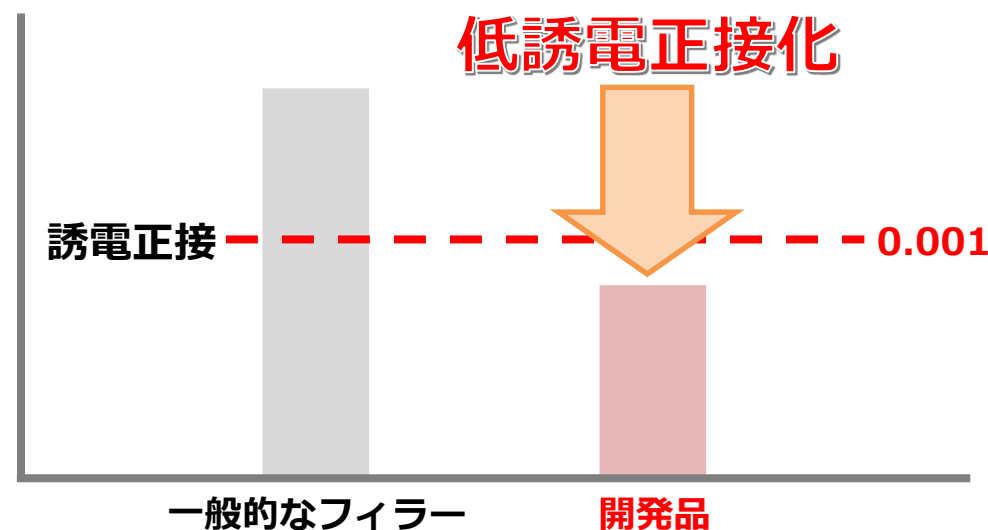


図. フレキシブルプリント配線板の市場規模推移・見込みと予測(2022年度富士キメラ総研調べ)



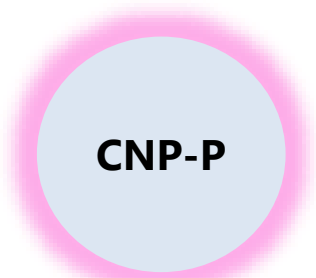
**新たな高性能フィラーの開発に成功（誘電正接 0.001以下@10GHz）**  
**高周波用基板材料として顧客評価を推進**

# 事業紹介 ～新たな取り組み（電子材料3）～

## 高機能フッ化物（ナノ材料）

- 反射防止膜向けの低屈折率フッ化物ナノ粒子分散液「CNP-P」
- フィルム強度の向上に寄与する「**CNP-PS1**」を開発しサンプル出荷を開始

### 【CNP-PS1】



表面コーティング

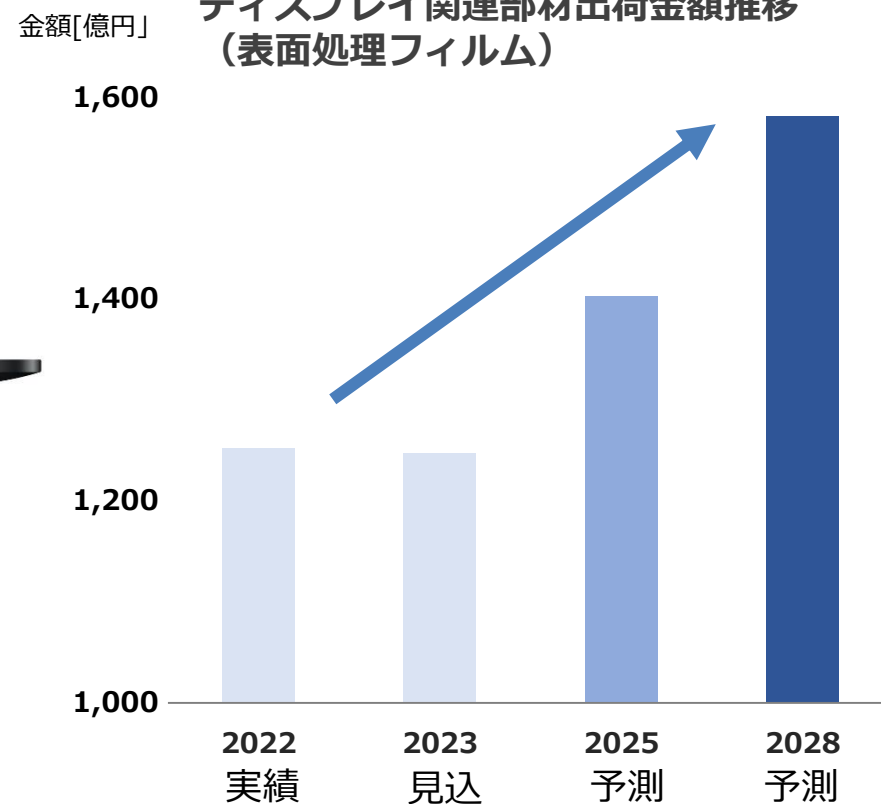
- ✓ フッ化物ナノ粒子
- ✓ 低屈折率
- ✓ 耐薬品性
- ✓ **フィルム強度UP**



※画像はイメージです。



ディスプレイ関連部材出荷金額推移  
(表面処理フィルム)



\* 出典 2023 ディスプレイ関連市場の現状と将来展望（株）富士経済

# 事業紹介 ～新たな取り組み（電子材料4）～

## 帯電防止剤

- イオン性化合物の合成技術を活かし、高純度で優れた帯電防止能を付与できる材料を開発



当社開発品（ASシリーズ）

新興経済諸国の急速な工業化・エレクトロニクス産業の著しい成長により帯電防止剤市場の成長が予測される

未処理

全面に樹脂紛が付着

表面抵抗  $> 10^{14} \Omega/\square$



帯電防止剤塗布

樹脂紛の付着ほぼなし

表面抵抗  $10^9 \Omega/\square$



当社開発品での帯電防止試験

# 事業紹介 ~その他製品例~



(製品情報)

## 光学材料関連

- ◆フッ化カルシウム
- ◆フッ化アルミニウム
- ◆フッ化リチウム
- ◆フッ化ストロンチウム
- ◆フッ化バリウム
- ◆フッ化マグネシウム
- ◆フッ化鉛

## 反応触媒関連

- ◆高純度三フッ化ホウ素
- ◆三フッ化ホウ素エチルエーテル
- ◆三フッ化ホウ素メチルエーテル
- ◆三フッ化ホウ素n-ブチルエーテル
- ◆三フッ化ホウ素テトラヒドロフラン
- ◆三フッ化ホウ素フェノール
- ◆三フッ化ホウ素モノエチルアミン
- ◆三フッ化ホウ素ピペリジン
- ◆トリエチルアミン・3HF

## 表面処理・代替フロン関連

- ◆無水フッ化水素酸
- ◆55%フッ化水素酸

## 原子力関連

- ◆<sup>10</sup>B濃縮ホウフッ化カリウム
- ◆<sup>10</sup>B濃縮ホウ酸

## その他製品群

- ◆ケイフッ化カリウム
- ◆ホウフッ化水素酸
- ◆ホウフッ化スズ
- ◆ホウフッ化銅
- ◆ホウフッ化鉛
- ◆ホウフッ化亜鉛
- ◆ホウフッ化ナトリウム
- ◆ホウフッ化カリウム
- ◆酸性フッ化アンモニウム
- ◆フッ化ナトリウム
- ◆フッ化カリウム
- ◆フッ化アンモニウム
- ◆フッ化ジルコニウムカリウム
- ◆フッ化チタンカリウム
- ◆精製フッ化カルシウム
- ◆六フッ化リン酸カリウム

## 新規開発品

- ◆薬液ライフタイムの向上に貢献する洗浄剤
- ◆シリコン窒化膜のエッチングを抑えた洗浄剤
- ◆電池関連 (ナトリウムイオン電池用電解質・リチウムイオン二次電池用添加剤・全固体リチウムイオン二次電池用材料)
- ◆各種フッ化物ナノ粒子/分散液 (マグネシウム・リチウム・イッテルビウム・カルシウム・CNP-P)
- ◆蛍光体材料関連
- ◆原子力関連
- ◆5G・6G (移動通信システム)、プリント基板関連
- ◆特殊用途無機フッ素化合物
- ◆フッ素化カーボンナノチューブ



# 事業紹介

くらしのなかの  
ステラケミファ



※詳細はホームページにてご覧ください。

## 街のなかでもステラケミファ



## 家のなかでもステラケミファ



## 病院のなかでもステラケミファ



## 学校のなかでもステラケミファ



# 事業紹介 ～運輸事業～



(HP URL)

ブルーエクスプレス株式会社

## 運輸事業

輸送	陸上輸送・海上輸送・鉄道輸送
通関	輸出入の通関手続き・輸出入貨物の出荷引取り業務
倉庫	最新システムを満載した〔複合機能倉庫〕を提供
コンテナサービス	ISO仕様の大型圧力容器、IBCサイズの中型圧力容器、UN仕様 IBCコンテナ等を提供するほか、それらの洗浄、整備およびリース等

通関拠点	輸送拠点	海外拠点
本社事務所	仙台営業所	シンガポール
大阪事務所	関東営業所	中国
横浜事務所	横浜営業所	
	清水営業所	
	名古屋営業所	
	本社営業所	
	神戸営業所	
	北九州営業所	





# 事業紹介 ～運輸事業～

## 保有車両 (2024年1月現在)

- トラクター (142輛)
- トレーラ (364輛)
  - 20Fシャーシ
  - 35Fシャーシ
  - 40Fシャーシ
  - コンテナ専用シャーシ
  - ウィングセミトレーラ
- タンクトレーラ (10輛)
  - タンクトレーラ
  - ガスタンクトレーラ
- ウィング車 (6輛)
- 温調車 (4輛)
- 平ボディー車 (12輛)
- コンテナ専用車 (18輛)
- タンクローリー (19輛)
  - 専用ローリー
  - ガスローリー
- タンクコンテナ (516輛)
  - ISO【テフロンライニング】
  - ISO【保温】
  - JRコンテナ【テフロンライニング】
- ポータブルタンク (24輛)

## 車両タイプ一覧



# 事業紹介 ～運輸事業～

## 企業価値向上に向けた取組み

### 1.収益性を重視した取組みを推進

- 廉価取引を見直し：コストに見合った料金改定や、取引そのものの見直しを進める
- 新規案件の獲得：引き合いへの積極対応、既存荷主への深耕、他部署との連携等による

### 2. 安定的事業基盤の構築

- 年齢構成を見ながら将来を見据えて採用し、管理者・幹部社員を計画的に育成
- 外部研修を活用しての技術習得や、資格取得を推進
- ニーズに合わせて、タイプ別の車両・容器を確保

### 3. コンプライアンス体制の継続強化

- ドライブレコーダー、デジタルタコグラフの活用や運行管理業務の見直し等により、危険運転や過重労働の防止を徹底
- 社員教育の充実、関連法規の理解の促進等

### 4. 物流の2024年問題に対応

- 「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準（2024年4月改正）」に向けた社内体制の整備



# 事業紹介 ～運輸事業～

## TOPICS

### ①新社屋（本社）完成



- 新社屋を大浜営業所（大阪府堺市）敷地内に建設（2023年8月完成）
- 旧社屋を解体し、効率的に運用するため跡地を整備

### ②新設備（横浜営業所）完成



- 横浜営業所内に8本同時に加温可能な危険品ISOタンクコンテナ加温設備が完成(2023年8月運用開始)

# PFASについて

## ■ PFAS（ピーファス）とは？

PFASとはPer and poly fluoroalkyl substancesの略称で、**炭素とフッ素**の結合を持つ化学物質（**有機**フッ素化合物）の総称です。

## ■ PFASの特徴とは？

耐薬品性 : 溶媒や酸、塩基などに対する耐性が強い  
耐熱性 : 燃えにくい  
撥水・撥油性 : 水や油をはじく  
電気絶縁性 : 低誘電特性があり、絶縁材料となる

など、様々な特徴を有しています。

【使用例】フッ素コーティング・テフロン加工・フォトレジスト（感光材）・電線被覆材・電池材料（セパレーター）  
人工血管やカテーテル・保護具 など

## ■ PFASの環境問題とは？

PFASは、その特徴である原子結合の強さから自然界で分解されることがほぼなく残り続け、蓄積され続けることがリスクとされており、人体に取り込まれると様々な影響を与える可能性があると考えられています。ただし、PFASは数千種類以上もあり、その多くは有害性およびその有無などが解明されておりません。

## ■ 当社におけるPFASの取扱いとは？

主力製品であるフッ化水素酸をはじめとする当社の製品は炭素とフッ素の結合を持たない**無機**フッ素化合物であり、**当社はPFASに該当する製品を製造しておりません。**

## ■ 当社におけるPFAS規制強化の影響は？

当社製品は上記のとおりPFASに該当しておりませんので直接的なPFAS規制の影響はございませんが、取引先の製造品がPFAS規制に該当するとなれば当社に影響する可能性があります。また、当社および取引先の製造設備や部品等においてPFAS規制を受けるものがあれば、当社に影響が及ぶ可能性があります。

## <免責事項>

本資料に掲載されている業績見通しに関する事項については、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、将来の業績を保証するものではなく、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

本資料に記載された内容は、事前の通知なくして変更されることがありますので、あらかじめご承知おきください。また掲載された情報の誤り等によって生じた損害等に関しましては、当社は一切の責任を負うものではありません。

本資料は、当社事業へのご理解をいただくために作成したものであります。

投資に関するご判断はご自身での責任で行われますようお願い申し上げます。